

日中青少年交流事業(短期招聘・短期派遣)概要

日中両国政府は、日中平和友好条約締結 30 周年である 2008 年を節目として、2008 年から 4 年間、年間 4,000 名規模の青少年の相互訪問を推進しています。

同世代の青少年との交流や、ホームステイ・ホームビジット体験の他、分野ごとの多面的な視察・交流プログラムを通じて、相互理解を深め、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる国民相互間、特に青少年間の信頼関係を醸成することを目的としています。

また、本事業は「21 世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」の一環として実施しています。

- 交流事業は大きく2つに分かれています。

【参考 2008 年度実績】

①中国青少年の招聘

・中国高校生：8 泊 9 日、年間約 2,000 名（7 回に分けて招聘）

・中国青年：約 7 日間、年間約 750 名（4 回に分けて招聘）

分野> 行政、経済、教育、学術、青年団体、友好交流、文化芸術、メディア、環境、エネルギー、科学技術、医療衛生、農業、大学生等

②日本青少年の派遣

・日本高校生：6 泊 7 日、年間約 700 名（3 回に分けて派遣）

・日本青年：約 1 週間、年間約 500 名（1 回で派遣）

分野> 政治、行政、経済、教育、学術、青年団体、友好交流、文化芸術、メディア、大学生等

- 2010 年度の実施計画について

現在、中国側や日本国内関係機関と調整中のため、具体的な日程・人数は未定ですが、これまで同様、約 4,000 名規模の青少年交流(招聘、派遣)を実施する予定です。

* 一部の事業は、他団体に委託実施予定。

以上